

京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会 議事要旨

1. 開催日時 平成28年12月6日（火曜日）午前10時から午前12時
2. 場所 京都平安ホテル 朱雀の間
3. 出席者
 - 【部会委員】 大西委員、岡田委員、片山委員、郡嶋委員、佐々木委員、汐見委員、山田委員（計7名）
※上記のうち、次の委員は代理出席
岡田委員（代理：久保氏）
佐々木委員（代理：田中氏）
汐見委員（代理：吉良氏）
 - 【事務局】 山口環境部長、山田環境技術専門監、尾形循環型社会推進課長、太田循環型社会推進課不法投棄等対策担当課長、その他関係職員
 - 【報道機関】 0名
 - 【傍聴者】 0名
4. 議 題
 - (1) 審議事項
京都府循環型社会形成計画（第2期）見直し（中間案）について
 - ①見直し計画の目標値について
 - ②各主体の役割について
 - ③施策の展開、処理施設の整備並びにそれらの評価指標について
 - (2) 報告事項
その他
 - (3) 今後のスケジュール
5. 議事概要＜主な意見＞
 - (1) 審議事項
 - ①見直し計画の目標値について
 - 目標値については変更せずに、施策を強めることによって達成を目指す。

②各主体の役割

- 観光客の役割、NGO、NPOの役割についても整理すべき。
- 先進的な市町村の施策・体制等を府で吸い上げ、各市町村にフィードバックするなど広域的な支援を府の役割に求めたい。
- 災害廃棄物対策に係る技術的支援について、地域の実情を踏まえた内容にしてもらいたい。

③施策の展開、処理施設の整備並びにそれぞれの評価指標について

- 不法投棄は監視カメラの設置など未然防止にも注力されたい。
- 事業者の拡大生産者責任と、各自治体の責任をより明確にし、それぞれの責任の隙間をなくすようにすべき。
- 低コストでリサイクルできる、採算の合うリサイクルを追求することが重要。

(2) 報告事項

- ①その他（業種別の排出量に対する処理の割合について）